

第五次地震被害想定調査について

1 調査の目的

県内に大規模な被害をもたらす地震を想定し、地震動、液状化、津波浸水等の分布範囲を予測するとともに、人的被害、建物被害、ライフライン被害、交通施設被害、経済被害等について被害予測を行い、減災目標の設定等、各種地震防災対策に資することを目的に実施するもの。

2 調査方法及び部会の開催状況

調査方法・評価等に係る専門的事項の指導・助言を受けるため、宮城県防災会議の下部組織として、学識経験者等からなる「地震対策等専門部会」を令和3年2月に設置し、令和3年度から令和5年度の3ヶ年で実施するもの。

○第1回地震対策等専門部会

日程：令和3年7月28日（水）

議事：第五次地震被害想定調査実施方針（案）について

（議事概要）

シミュレーション及び被害想定を行う地震・津波のモデルについて、既往歴及び過去の災害の再現計算のみにとらわれる事なく、本県で起こりうるあらゆる可能性を考慮し、次回以降の部会で選定していくこととする。

○第2回地震対策等専門部会

日程：令和4年2月4日（金）

議事：想定する地震・津波について（予定）

3 今後の予定

開催予定	名 称	検討項目（予定）
令和4年度	第3回地震対策等専門部会	地震動津波シミュレーション進捗報告等
	第4回地震対策等専門部会	津波シミュレーション、被害予測等
	第5回地震対策等専門部会	被害予測、災害シナリオ、防災対策等
令和5年度	第6回地震対策等専門部会	調査報告書案の検討
	（県防災会議幹事会）	調査結果の報告、地域防災計画案の検討
	（県防災会議）	調査結果の報告、地域防災計画の審議等

